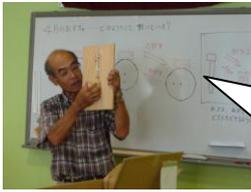


8月12日

新規グループ

からくりオモチャを作ろう

4月の活動で、ゼンマイの回る動きをちがった動き（足の動きなど）に変えていたことを思い出し、からくりオモチャを製作しました。



円板の中心と回る中心が同じだと、円板に付けた棒はちがった動き（上下など）をしないけど、中心をずらすと棒は上下に動かすことができます。また、円板を細い棒にして回転させても同じように物を上下に動かすことができますよ。動きを考えながら組み立てていこう。

犬が骨をかまないように、2つの円板をずれないように動かしたりするのが難しい。



なぜ、犬は回るのか？ストッパーで軸をあげることで上がって、下がる時の衝撃で回るんだ。この仕組みはおもしろい。



4月のときは、中が見えなかったが、これは、はっきり見える。軸をどこにすればバランスがとれるかが難しかった。



ブルブルカーでは軸がずれていることで、振動が起き動いた。軸をずらすことで、いろいろな動きにつながっていく。

ハンドルを回すと中の円板が上がって口が開く、別の円板の中心がずれているので上がったときに肉が上がって、下がったときに犬の口に入る。凄い仕組みだな。



継続2年目・3年目 歩く象の改良とハイブリッドカーの発表・後期作品のアイデアシート作り



改造してくまを作った。歩くと口が動くようにした。



発表のとき動かなくなった原因はスイッチの接触が悪かったからです。そこを改良したい。

頭も思ったように動きました。しっぽをもう少し小さくしてもよかった。工夫したところは、スイッチをいれやすいように画用紙に切り込みをいれたところです。



ゴム動力のとき、まっすぐ走らなかったのが、車がまっすぐ走るか心配でした。発電機はうまく回らなかったけどライトが光って良かったです。



大林指導員より

前期の作品発表会では、クラブ員のさまざまな工夫が発表され、思わず感心してしまいました。また、歯ブラシやカップめんなどの容器、コルク板など、その作品に適した日常生活用品が使っており、クラブ員の発明の力が伸びてきていることを実感しました。後期は創意工夫作品にチャレンジします。日々の生活の中で不便に感じたり、こんなものがあれば楽しいと思う作品を考えて作っていきましょう。